

平成26年度 指定管理者制度モニタリング結果報告書

1. 施設概要

施設名	神奈川県立相模湖交流センター		
所在地	神奈川県相模原市緑区与瀬259-1		
サイトURL	http://www.sagamiko-kouryu.jp		
根拠条例	神奈川県立相模湖交流センター条例		
設置目的(設置時期)	水源地域の活性化を図り、多様な交流活動の場を提供するための施設として設置（平成12年4月）		
指定管理者名	アクティオ株式会社		
指定期間	平成23年度～平成27年度	施設所管課	土地水資源対策課

2. 総合的な評価

総合評価	総合的な評価の理由と今後の対応
A	<p>◆管理運営等の状況 提案に基づき、施設の適切な維持管理を行い、多目的ホール、アートギャラリー等の貸出し業務、利用の促進に関する業務等を実施した。主要な施設である多目的ホールの利用率（利用日数/利用可能日数）が過去最高の91.46%となるなど、実績をあげた。 また、施設の設置目的を踏まえた多様な自主事業を行っており、平成26年度は計画（34回）を上回る43回の自主事業を実施し、館の価値向上に努めている。</p> <p>◆利用状況 今年度の利用者数は、昨年度より4,832人増加し、前年対比で9.7%のプラスとなりA評価となった。 また、目標値を設定しているホールとギャラリーの利用率については、ホールは80%の目標に対し91.46%と大幅に上回った。平成23年度から利用率は年々向上しており、質の高い自主事業を行うことで多くの人に来館してもらい、それをきっかけに地元団体の利用が増加するなど、実績を上げている。 ギャラリーは65%の目標に対し52.27%と下回っているため、積極的なギャラリーの利用者確保に向けた取り組みを行うよう指導した。</p> <p>◆利用者の満足度 平成26年度に実施した自主事業のうち、26事業について満足度調査を行ったところ、上位2段階の回答割合が83.9%でありA評価となった。毎年、前年を上回る評価となっている。</p> <p>◆収支状況 収支状況については、収支差額は経費節減により9,299千円プラス、比率では11.7%プラスとなりS評価となった。なお、利用料金については、昨年度より326千円プラスとなっている。</p> <p>◆苦情・要望等 特になし</p> <p>◆事故・不祥事等 特になし</p> <p>以上の管理運営状況を総合的に勘案し、総合評価をA評価とした。今後も、利用者への配慮ある施設運営に努めながら、引き続き水源地域の交流拠点として効果ある自主事業を開催し、更なる利用率の向上及び平成26年度の利用者数を上回るような取り組みに努めてもらいたい。</p>
S：極めて良好な管理運営状況 A：良好な管理運営状況 B：一部改善が必要な管理運営状況 C：抜本的な改善が必要	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	特になし	
現場確認	実施日	特記すべき事項等があった場合はその内容
	平成26年11月19日 (備品の確認) ※この他、年数回催しもの 状況視察等を実施	
随時モニタリング 指導・改善勧告 等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
管理施設の維持管理に関する業務 ①保守管理業務 ②環境維持管理業務 ③安全管理業務	設備の保守点検や清掃業務など、定められた実施回数を実施した。 また、危機管理マニュアルに基づいた安全管理を心掛け、年2回(12月と3月)防災訓練を実施した。	月例報告により確認しており、提案のとおり適切に行われている。
運営に関する業務 ①管理施設及び設備の貸出し業務 ②利用の承認業務 ③利用承認の取消し業務 ④管理施設の利用案内に関する業務 ⑤利用者との事前調整業務 ⑥駐車場の管理業務	施設及び設備の貸出、承認業務、駐車場の管理業務は条例・規則に従い円滑に実施した。施設及び設備の貸出しにあたっては、利用者との事前打合せを十分に行い、利用者のニーズに適確に対応した。	月例報告により確認しており、提案のとおり適切に行われている。
利用料金の徴収に関する業務	施設利用者に施設・設備の利用料金はキャンセルによる払い戻しが出来ない旨の説明を徹底し、施設・設備の利用料金の事前徴収を条例どおり円滑に遂行した。	月例報告により確認しており、提案のとおり適切に行われている。
利用の促進に関する業務 ①利用者数及び利用率の向上に関する業務 ②広報、情報提供に関する業務 ③利用統計に関する業務	相模湖駅前に交流センター情報掲示板を設置して、施設案内等の情報を提供するとともに、ホームページ、折込チラシ、インターネット広告の活用等により、利用者の誘致を図った。	月例報告により確認しており、提案のとおり適切に行われている。
効果的・効率的な運営に資するために必要な業務 ①事業計画、人員配置計画及び収支計画の作成に関する業務 ②業務日報の作成に関する業務 ③月例業務報告書の作成に関する業務 ④利用者満足度調査の実施に関する業務 ⑤実績報告書の作成に関する業務	「事業計画、人員配置計画及び収支計画」、「日報」、「月報」、「実績報告書」については、期限を遵守し作成した。 また、自主事業のイベント毎に利用者満足度調査を実施し、今後の運用の参考としている。	それぞれ各報告により確認しており、提案のとおり適切に行われている。

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
平成26年度は、水源地の自然と人との触れ合い、多様な交流、街の活性化などをテーマに、年間34回の自主事業を計画を立てて実施。	多目的ホールにおいてはコンサート等24回、ギャラリーにおいては展示会等16回、研修室においては囲碁・将棋を楽しむ会等3回のイベントを開催した。計画を9回上回る計43回の自主事業を実施した。
「さがみこ音楽創造ワークショップ」の開催。 (水源地の自然と人との触れ合いをテーマとした事業の一例)	9/13～9/15までの3日間、プロの演奏を鑑賞し、レッスンやセッションを通し、音楽をすることの楽しさ、自然の豊かさを体験する「さがみこ音楽創造ワークショップ」(著名なジャズピアニストの国府弘子との合宿)を開催した。30名募集し、35名の参加となった。
「チェン ミン 二胡コンサート」の開催。 (多様な交流をテーマとした事業の一例)	相模ダムは、中国、朝鮮半島の方々の尊い犠牲もあり完成したという歴史を踏まえ、平和と友好を希求し、6/7「チェン ミン 二胡コンサート」を開催した。174名の来館があった。
「虫・ムシ・むし展」の開催。 (街の活性化・自然を通じた文化との触れ合いをテーマとした事業の一例)	8/17～8/31までの計13日間、アートギャラリーにおいて、陶でできた虫、ガラスの虫、紙の虫などを利用した「虫・ムシ・むし展」を開催した。計1,176名の来館があった。

5. 利用状況

評価	《評価の目安》目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
A	

	[参考] 直営/管理委託/指定管理※2	前々年度	前年度	平成26年度
利用者数※1	59,143	53,350	49,659	54,491
対前年度比			93.1%	109.7%
目標値	[目標値設定根拠]	—	—	—
目標達成率	※定めていない。			

※ホール及びギャラリーの利用率目標値 ホール80%、ギャラリー65% (利用があった日数/利用可能日数)

平成26年度年間実績 ホール91.46% (257日/281日)、ギャラリー52.27% (161日/308日)

[参考：最大利用可能人数]

	多目的ホール	研修室A	研修室B	主催者控室A	主催者控室B	合計
定員	456	20	20	6	6	
年間利用可能日数	281	308	308	308	308	
最大人数※1	128,136	6,160	6,160	1,848	1,848	144,152
稼働率※3	91.46%	28.90%	21.10%	25.00%	20.45%	

※1 原則は人数だが、施設の状況等により変更は可能。単位を変更した場合はその理由

※2 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

※3 稼働率については、「利用があった日数」/「年間利用可能日数」により算出

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》「満足」(上位二段階の評価)と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満
A	

満足度調査の実施内容	協定等に定めた調査内容	実施結果と分析
	自主事業の参加者にアンケート用紙を配布し回収、分析する。	「どちらかといえば満足」以上が昨年より増え83.9%となり、多くの来館者に好感をもたれている。

実施した調査の配付方法 参加者に直接配布 回収数/配付数 1,304 / 3,322 = 39.3%

配付(サンプル)対象 自主事業参加者

	満足	どちらかといえば満足	普通	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
総合満足度の回答数	437	530	184	2	0	1,153	①従業員の対応が良い ②清掃などが行き届いて清潔である ③良い公演であった等
回答率	37.9%	46.0%	16.0%	0.2%			
前年度の回答数	399	623	198	5	3	1,228	
回答率の対前年度比	116.6%	90.7%	99.4%	50.0%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位:千円)

	[参考] 直営／管理委託 ／指定管理※	前々年度	前年度	平成26年度	備考
(1) 収入					
〔参考〕年度計画	88,974	86,880	86,880	89,362	・「その他収入」は複写サービス代等雑収入
指定管理料	88,974	80,055	79,955	82,137	
利用料	注1 ー	6,025	6,021	6,347	
その他収入	0	193	204	195	
合計	88,974	86,273	86,180	88,679	
対前年度比		97.0%	99.9%	102.9%	
対 計画比	100.0%	99.3%	99.2%	99.2%	
(2) 支出					
〔参考〕年度計画	88,974	86,880	86,880	89,362	
支出額	88,974	74,633	79,415	79,380	
(内 納付金)					
対前年度比		83.9%	106.4%	100.0%	
対 計画比	100.0%	85.9%	91.4%	88.8%	
(3) 収支					
〔参考〕年度計画	0	0	0	0	
収支差額	0	11,640	6,765	9,299	
対前年度比			58.1%	137.5%	
収入合計／支出合計の比率	100.0%	115.6%	108.5%	111.7%	

※ 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

※ の欄は記入不要。

注1 利用料については、平成23年度から利用料金制度を導入しており、平成22年度までは使用料で県の収入。

[参考：県が支出した修繕工事費] ※県が支出する計画修繕工事・各所管繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額)
該当なし		

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 100万円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況] 該当なし

	金額(千円)	内容(金額)
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	0	件		
		件		
職員対応	0	件		
		件		
事業内容	0	件		
		件		
その他	0	件		
		件		

※指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等)
			②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等)

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。